



マスつかまえた!

危険予知トレーニング、紙鉄砲作り、マスつかみ。つかんだマスはさばいて焼き、たき込みご飯といっしょにお昼した。

「自然を知って、異年齢間の交流をはかろう。」という目的で行われた今回の催し物。保育園児、小学生など14名と、親御さん達が集まりました。

子ども会 育成会の夏休み

鎖川で遊ぼう 8/2

今年も子ども達の、そして大人達も熱い一日となりました。企画の目玉は、流しそうめんと紙鉄砲作り。そうめんを茹でる火を焚き、大きな炎が上がった時は、満面の笑みがこぼれました。



ソーメン美味しい!

にいただきました。食後にはスイカ割りと、協力員の方々の助けを借りながら盛り沢山の内容に、子ども達の歓声が上がっていました。

子ども夏祭り 8/9

今年も子ども達の、そして大人達も熱い一日となりました。企画の目玉は、流しそうめんと紙鉄砲作り。そうめんを茹でる火を焚き、大きな炎が上がった時は、満面の笑みがこぼれました。

恒例のおばけ屋敷は、KIYAIdeリーダーと小学校高学年児童がお化け役。念入りに準備したおかげでコースは、真つ暗にできあがりしました。「3回も4回も入ったよ」という子がいると思えば、手を引かれても背中を押されても入る勇気が出ない子もいます。

児童センター

夕涼み会 8/22

紙鉄砲作りでは、完成するまで夢中になり、無駄な言葉は一つとして聞かえません。今井の子ども達のパワーと集中力には脱帽です。

会長の丸山祐介さん、そして協力員12名の方々の熱い思いが伝わってきた一日でした。

熱い今井の夏



No.319

今井公民館
館報編集委員会
電話 59-2001
FAX 59-1004



戦争を知らない子供たち合唱



花火のSUMMERFEST!

好天に恵まれ、大勢の住民が参加して盛大に開催されました。恒例の松本音楽団の演奏と花火の打ち上げによるコラボは本当に素晴らしく、会場は拍手と笑顔で包まれました。また、戦後70周年の節目として、平和を願い「戦争を知らない子供たち」を集まった全員で合唱しました。

第21回
今井どんぱん夏祭り
8月14日



松本音楽団の皆さん



今井の父ちゃんフラダンス



盆踊り

4人制ソフトバレー講習会

7月26日(日)、今井地区体協が主催し、約30名が参加しました。

ワンバウンドふらばーるバレーは軽く軟らかな変形ボールを使うので、スピードが出ない分、バレー未経験者や高齢者の方も積極的にプレーしていました。また、4人制ソフトバレーはスピーディーなゲーム展開が楽しめました。



どこへ行くかわからない

参加者は「両種目とも同じバドミントンのコートを使って気軽にできるのが良い」「ふらばーるバレーはルールがとても面白い」と、笑顔で感想を話してくださいました。

信州地域おこし会議



山雅を中心とした地域づくり計画の関連事業の一環として8月16日(日)に行われました。

当日は旧盆としてアルウィンでは山雅の試合が行われる日にもかかわらず、50名の参加者が会場を埋めました。

前半のプレゼンテーションの中で、松本出身のサッカージャーナリストとして活躍し、松本山雅をこよなく愛し、4月「勝利の街に響け凱歌」—松本山雅という奇跡のクラブ—を出版した元川悦子さんは、人口的には松本とほぼ同じ田舎町でありながら、短期間に劇的に躍進をみせたドイツの名門チームマインツや、

シヤルケ等いくつかのチームと、地域について紹介しました。いずれの場合もスタジアムを中心にスポーツ関連施設やショッピングゾーン等、人が集まれるような環境が形成され、一大経済圏が作られていると指摘しました。

また、信大教授の橋本さんは、サッカーチームを公共財と捉え、Jクラブの重要性として①健全なクラブの成長は地域のブランドを醸成する②ファンタジー願望を享受する③スポーツコミュニティの中心となると指摘しました。

後半のパネルディスカッションには上條温市会議員



No.258

「息子のサッカーに感謝」

中村 秀也 (公園西)

長野県には今、サッカー好きの方が多くと思えますが、勝利することの難しさを息子のサッカーを見て感じる時があります。

息子は現在、中学3年で鉢盛中サッカー部に所属しています。先日中学最後の夏季大会があり、皆で一つになり



勢いそのままに優勝を目指しましたが、最後は準々決勝で惜敗し、県ベスト8で終わってしまいました。

本人も小学生の頃から続けてきたサッカーを通じて大勢の人と出会いましたが、鉢盛

田中悦郎農業委員、フィットネスコーディネーターの小林美穂さん、上條幸雄今井地区町会連合会長の皆さんが加わり意見交換しました。

Q. アルウィンの周囲には何も無いが市等の取り組みは？
A. 人が集まり易く付加価値の高い場所作りは、住民が主体的に運動を進めていきたい。
Q. 山雅ドリームサミットの開催はどうか？
A. クラブを公財と捉え、情熱と行動力があれば実現可能。

最後に、「スポーツは文化だ」という考えが松本に芽生え始めた。行政の中に専門分野として位置づけ、振興していく必要がある、との意見が出されて会が締めくくられました。

中の仲間が最高だと言っています。顧問の先生の指導も素晴らしく、決して上手ではない息子たちをよくぞ高い舞台まで連れて行ってくれたと思っています。楽しい保護者方とも知り合えて感謝の気持ちでいっぱいです。

サッカー部はまだリーグ戦があり、3年は引退していませんが、高校へ行っても休日に暇にならずにうれしい限りです。

北風南風

我が家ではジジババ農業をしているが、最近どうもやり辛くなってきた▼数年前から栗が元気なく、7月の終わり頃

パラパラと葉が落ち始めた。枝皮に1mmにも満たないような小さな粒々がびっしり。病気か？と果樹試験場へ伺いに。係官いわく「カイガラムシです」カイガラムシは直径2〜3mmのものばかり思っていたのに。以前はなかった▼見たこともないような雑草がのさばりはじめた。草丈はさほどではないがその繁殖力はすさまじい。たちまち作物の領分を犯してしまう。病気にしてもしかり。消毒してもすぐに病魔に取り付かれる。新しい害虫・病気・雑草はどこから来たのか？また温暖化の影響か？思いもよらないような新たな様々な災難が後から後から襲ってくる▼誰かが言った。「計画した量だけ収穫でき、予定した値段で売ればこんな楽な商売はないわ！」まさしく至言である。消費者に安全なものを届けたらと思いつつも消費に頼らざるを得ない現実が悲しい。先のことばかり心配せず天の意のままに生きていく外ないか。(K・K)